



平成26年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年4月11日

上場会社名 株式会社ワッツ 上場取引所 東
 コード番号 2735 URL http://www.watts-jp.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 史生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 森 秀人 TEL 06-4792-3280
 四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第2四半期の連結業績（平成25年9月1日～平成26年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第2四半期	21,545	5.1	906	△25.5	905	△25.5	480	△33.6
25年8月期第2四半期	20,500	1.1	1,215	14.9	1,215	14.4	724	20.4

(注) 包括利益 26年8月期第2四半期 503百万円 (△33.2%) 25年8月期第2四半期 754百万円 (26.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第2四半期	35.50	—
25年8月期第2四半期	57.27	—

(注) 当社は、平成25年3月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。従いまして、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定した遡及処理後の1株当たり四半期純利益金額を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第2四半期	16,388	7,969	48.6
25年8月期	18,177	7,695	42.3

(参考) 自己資本 26年8月期第2四半期 7,969百万円 25年8月期 7,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	17.00	17.00
26年8月期	—	0.00			
26年8月期（予想）			—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 平成25年8月期の期末配当金には、東京証券取引所市場第二部への市場変更記念配当2円を含んでおります。

3. 平成26年8月期の連結業績予想（平成25年9月1日～平成26年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	5.5	2,140	3.1	2,100	1.2	1,180	5.0	93.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）上海望趣商貿有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年8月期2Q	13,958,800株	25年8月期	13,958,800株
② 期末自己株式数	26年8月期2Q	410,794株	25年8月期	410,794株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年8月期2Q	13,548,006株	25年8月期2Q	12,652,006株

(注) 当社は、平成25年3月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。従いまして、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定した遡及処理後の株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策（所謂アベノミクス）を好感する流れで一定の回復を見ましたが、このまま持続性を持って推移するという見方は少なく、海外の政情・財政不安とも相まって、年明け以降は株価・為替とも軟調に推移いたしました。一方、4月の消費税率引上げによる影響は、駆け込み需要と反動減は予想されるものの、相次ぐ賃上げやベアの復活による消費マインドの改善期待や追加経済対策等により、一定時期を経て回復に向かうと思われれます。海外においては、中国を除くアジア、米国、欧州とも、総じて堅調に推移している中で、東欧地域での新たな旧政情不安や中国における環境・信用問題の高まりが、不確定要素として残ることになると思われれます。

このような環境のもと、100円ショップ「ミーツ」「シルク」を展開する当社グループは、実生活雑貨を中心に買い得感のある商品群をプライベートブランド「ワッツセレクト」として開発・販売し、店舗におきましてはローコストでの出退店とローコストでの運営を継続することで、お客様の満足度の向上と店舗収益確保を両立させる努力を続けております。

当社の基幹事業である国内100円ショップ事業におきましては、前連結会計年度に出店時期の遅れによって売上高が伸び悩んだことを踏まえ、計画を上回る積極的な出店を行いました。結果として売上高は1月までは計画を上回るペースで進捗したものの、2月が記録的な大雪の影響で計画を大きく下回ってしまったため、計画に対して若干の未達となりました。一方利益面でも、積極的な出店関連費用が嵩んだことにより未達となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における100円ショップの出店店舗数は、通期計画の100店舗に対して70店舗となっております。一方で、不採算店舗の整理や母店閉鎖等による退店が30店舗（内FC1店舗）あり、期末店舗数は直営が889店舗（41店舗純増）、FCその他が52店舗（1店舗減）の計941店舗となりました。

その他の店舗の当第2四半期連結累計期間末店舗数につきましては、ナチュラル雑貨販売の「ブオーナ・ビーター」は6店舗の積極的な出店を行い、23店舗となりました（閉鎖店舗はございませんでした）。生鮮スーパーとのコラボである「バリュー100」は、店舗数の増減はなく1店舗であります。

海外事業につきましては、東南アジアの均一ショップ「こものや」は、タイにおいては4店舗出店して12店舗となり、マレーシアでは11月に初出店して1店舗となっております。中国 上海での均一ショップ「小物家園」は1店舗出店し、3店舗となりました。加えて、ベトナム、ミャンマー、オーストラリア、ニュージーランド等に向けた卸売りを拡大いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は21,545百万円（前年同四半期比5.1%増）、営業利益は906百万円（同25.5%減）、経常利益は905百万円（同25.5%減）、四半期純利益は480百万円（同33.6%減）となりました。

なお、当社グループの事業は、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は12,294百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,987百万円減少いたしました。これは、商品及び製品が263百万円増加した一方、前連結会計年度末日が金融機関の休日であった影響により、現金及び預金が1,622百万円、受取手形及び売掛金が494百万円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は4,094百万円となり、前連結会計年度末に比べて198百万円増加いたしました。これは主に、出店に伴って工具、器具及び備品が64百万円、差入保証金が52百万円、建物及び構築物が47百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、16,388百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,788百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7,569百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,754百万円減少いたしました。これは、前述の現金及び預金、受取手形及び売掛金と同様の要因から支払手形及び買掛金が1,171百万円減少したこと、また、1年内返済予定の長期借入金が返済により219百万円減少したこと、一方で未払法人税等が168百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は850百万円となり、前連結会計年度末に比べ307百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が返済により326百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、8,419百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,062百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は7,969百万円となり、前連結会計年度末に比べ273百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が250百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は48.6%（前連結会計年度末は42.3%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計期間末に比べて1,622百万円減少し、4,657百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は421百万円（前年同四半期は670百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益902百万円、売上債権の減少額495百万円、減価償却費115百万円であります。支出の内訳は、主に前連結会計年度末日が金融機関の休日であった影響による仕入債務の減少額1,109百万円、たな卸資産の増加額253百万円、法人税等の支払額178百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は400百万円（前年同四半期は101百万円の使用）となりました。この内訳は、有形固定資産の取得による支出275百万円、新規出店等のための敷金及び保証金の差入による支出119百万円、店舗閉鎖等による敷金及び保証金の回収による収入51百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は814百万円（前年同四半期は507百万円の使用）となりました。この内訳は、長期借入金の返済による支出545百万円、配当金の支払額229百万円、短期借入金の純減額40百万円等であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年10月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、上海望趣商貿有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めておりません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,280,114	4,657,683
受取手形及び売掛金	2,320,628	1,825,927
商品及び製品	4,961,451	5,224,682
原材料及び貯蔵品	14,514	7,520
繰延税金資産	261,722	264,791
未収消費税等	9,745	8,419
その他	457,977	323,967
貸倒引当金	△24,245	△18,787
流動資産合計	14,281,909	12,294,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	879,330	901,814
減価償却累計額及び減損損失累計額	△585,220	△560,467
建物及び構築物（純額）	294,110	341,347
車両運搬具	27,460	10,441
減価償却累計額及び減損損失累計額	△25,144	△8,714
車両運搬具（純額）	2,315	1,726
工具、器具及び備品	2,339,954	2,474,665
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,892,543	△1,962,312
工具、器具及び備品（純額）	447,411	512,353
土地	257,800	257,800
有形固定資産合計	1,001,637	1,113,227
無形固定資産		
その他	28,109	51,310
無形固定資産合計	28,109	51,310
投資その他の資産		
投資有価証券	216,527	225,913
繰延税金資産	88,224	94,520
差入保証金	2,474,314	2,527,001
その他	114,777	111,925
貸倒引当金	△27,778	△29,175
投資その他の資産合計	2,866,066	2,930,185
固定資産合計	3,895,813	4,094,723
資産合計	18,177,723	16,388,926

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,578,900	5,407,136
短期借入金	140,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	957,844	738,730
未払法人税等	285,577	454,036
未払消費税等	61,667	53,625
賞与引当金	140,390	146,201
その他	1,159,302	669,729
流動負債合計	9,323,682	7,569,458
固定負債		
長期借入金	644,375	318,021
退職給付引当金	127,309	132,002
役員退職慰労引当金	121,492	127,047
資産除去債務	74,762	76,508
その他	190,203	196,643
固定負債合計	1,158,142	850,224
負債合計	10,481,825	8,419,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	1,583,816	1,583,816
利益剰余金	5,716,939	5,967,511
自己株式	△84,093	△84,093
株主資本合計	7,656,960	7,907,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,515	11,073
為替換算調整勘定	35,421	50,637
その他の包括利益累計額合計	38,937	61,711
純資産合計	7,695,898	7,969,244
負債純資産合計	18,177,723	16,388,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
売上高	20,500,255	21,545,071
売上原価	12,589,437	13,358,680
売上総利益	7,910,818	8,186,390
販売費及び一般管理費	6,695,038	7,280,131
営業利益	1,215,780	906,258
営業外収益		
受取賃貸料	9,637	12,227
持分法による投資利益	3,973	7,262
貸倒引当金戻入額	3,229	6,802
その他	8,555	6,879
営業外収益合計	25,397	33,172
営業外費用		
支払利息	7,196	3,819
退店違約金	11,600	10,243
賃貸収入原価	4,962	5,436
為替差損	—	7,881
その他	2,141	6,434
営業外費用合計	25,900	33,815
経常利益	1,215,277	905,615
特別利益		
固定資産売却益	—	1,826
投資有価証券売却益	730	—
保険解約返戻金	—	6,284
受取補償金	23,198	—
特別利益合計	23,928	8,110
特別損失		
固定資産除却損	4,777	2,851
減損損失	6,059	8,641
特別損失合計	10,837	11,493
税金等調整前四半期純利益	1,228,368	902,232
法人税、住民税及び事業税	523,633	436,629
法人税等調整額	△19,843	△15,285
法人税等合計	503,789	421,344
少数株主損益調整前四半期純利益	724,579	480,888
四半期純利益	724,579	480,888

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	724,579	480,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,396	7,558
為替換算調整勘定	17,525	20,380
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△5,164
その他の包括利益合計	29,921	22,773
四半期包括利益	754,500	503,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	754,500	503,662

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,228,368	902,232
減価償却費	108,110	115,320
減損損失	6,059	8,641
のれん償却額	5,545	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,930	△4,059
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,327	5,810
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,700	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,508	4,693
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,985	5,555
受取利息及び受取配当金	△1,145	△1,201
支払利息	7,196	3,819
投資有価証券売却損益 (△は益)	△730	—
固定資産除却損	4,777	2,851
売上債権の増減額 (△は増加)	104,765	495,121
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△162,665	△253,474
仕入債務の増減額 (△は減少)	203,273	△1,109,700
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△175,210	△6,260
その他	△135,395	△409,785
小計	1,197,141	△240,434
利息及び配当金の受取額	1,077	1,053
利息の支払額	△7,056	△3,666
法人税等の支払額	△520,611	△178,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	670,551	△421,233
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△123,381	△275,473
有形固定資産の売却による収入	875	2,379
敷金及び保証金の差入による支出	△105,842	△119,203
敷金及び保証金の回収による収入	124,758	51,546
資産除去債務の履行による支出	△4,100	—
投資有価証券の売却による収入	13,097	—
その他	△7,172	△59,668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,764	△400,419
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△40,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△719,149	△545,468
配当金の支払額	△188,793	△229,170
財務活動によるキャッシュ・フロー	△507,942	△814,638
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,753	13,859
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	64,598	△1,622,431
現金及び現金同等物の期首残高	4,086,621	6,280,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,151,220	4,657,683

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。